

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年生		学期及び曜時限	後期 月 6	教室名	802
担 当 教 員	松野 菜々	実務経験とその関連資格	作業療法士として、障がい者福祉施設に勤務。重症心身障害児者やASD、ADHD、染色体異常、脳性まひ児などへのリハビリテーションに従事。			
《授業科目における学習内容》						
臨床場面での具体的な事例の話を加えながら、発達障害領域で作業療法士が関わらせていただくことの多い疾患の基礎知識について教科書や資料に基づいて講義を行わせていただく。実習や国家試験に関わりの深い脳性麻痺や自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・てんかんなどについては特に詳しく説明する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 :80% 小テスト :20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野小児科学 第4版(富田 豊 編集・医学書院)						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を読んで予習を行うこと。前回授業の復習として小テストを実施するため、授業終了後に配布資料と教科書で復習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
発達障害領域は実際の臨床場面のことや、対象とする患者様のことがイメージしづらい分野だと思っています。小児科学で勉強して頂くことが、どのように臨床での実習で活かしていく事ができるのか、知識と実際のイメージを結びつけながら講義させていただければと思います。実習で重症心身障害児者施設や、発達障害の外來をしている場所に行くことになったとき、少しでも当科目で勉強したことが役に立てばと思います。また、現在発達障害領域におけるOTのニーズは非常に高いと言えますので、皆さんに少しでも興味を持っていただけるよう楽しく学んで頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児科学と発達障害領域でのOTとの関わりを説明できる。	教科書	小児科学 初版「序」、P.1	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	出生体重、新生児評価、新生児・周産期異常症状を列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.37-50	
		各コマにおける授業予定	新生児・未熟児疾患①			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	代表的な中枢神経障害と疾患について説明できる。	教科書	小児科学 P.51-56	
		各コマにおける授業予定	新生児・未熟児疾患②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常と遺伝病について(染色体異常・先天奇形・代謝異常など)が列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.57-75	
		各コマにおける授業予定	先天異常と遺伝病について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	てんかんについて、分類や症状について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.94-98	
		各コマにおける授業予定	てんかんについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋疾患(主に筋ジストロフィー)の症状について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.109-112
		各コマにおける授業予定	小児の金疾患について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の循環器疾患について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.118-128
		各コマにおける授業予定	小児の循環器疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の呼吸器疾患について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.129-137
		各コマにおける授業予定	小児の呼吸器疾患		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の消化器疾患について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.152-163
		各コマにおける授業予定	小児の消化器疾患		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性まひについて①/麻痺の分類についての知識や臨床像について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.98-101
		各コマにおける授業予定	脳性まひについて		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性まひについて②/麻痺の型についての知識や臨床像について列挙・説明できる。	教科書	第10回 配布資料
		各コマにおける授業予定	脳性まひについて		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	重症心身障害児者について①/大島の分類の理解・変形・拘縮について列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.208-214
		各コマにおける授業予定	重症心身障害児者について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	重症心身障害児者について②/講義3～9と関連付けながら様々な臨床像を列挙・説明できる。	教科書	第12回 配布資料
		各コマにおける授業予定	重症心身障害児者について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害について①/ASD・ADHDについて列挙・説明できる。	教科書	小児科学 P.101-105
		各コマにおける授業予定	発達障害について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害について②/MR・LDについて列挙・説明できる。	教科書	第14回 配布資料
		各コマにおける授業予定	発達障害について		